

遺族の出棺時挨拶（例・事業継承）

皆様には、たいへんお忙しいなか、またお足元の悪い中を、亡き（父）〇〇〇〇の葬儀、告別式に、このように多数ご参列いただきまして誠にありがとうございました。私は、（長男）の〇〇でございます。遺族^{いぞく}を代表して一言ご挨拶^{あいさつ}させていただきます。

（父）は、昭和〇〇年、〇〇歳の時に現在の〇〇株式会社の前身である〇〇商事を創業いたしました。以来、社業発展のために全身全霊^{ぜんしんぜんれい}で取り組んで参りました。その道の途中にはさまざまな困難があったと、聞いております。（父）は常々こう言っていました。「商売は従業員や取引先をはじめとした多くの方の支えがあって成り立つものだ。その方たちとの関係を大切にしなければならい」と。

私も（父）の会社を引き継ぎ、（父）の言葉がようやくわかって参りました。現在の〇〇株式会社があるのはひとえに皆様のご厚情のおかげと本当に感謝しております。（父）も、本日このように多くの方にお見送りいただき喜んでのことと思います。（父）に代わりまして心から御礼を申し上げます。

今後は、（父）の遺志^{いし}を引き継ぎ、残された家族、従業員が気持ちをひとつにして社業発展に全力を投じる覚悟でございます。亡き（父）同様にご厚誼^{こうぎ}のほどをお願い申し上げまして、お礼の言葉に代えさせていただきます。

本日はありがとうございました。